

平成 26 年 9 月
中国四国防衛局

美保基地における陸自輸送ヘリコプターの配備について

- 新たな中期防衛力整備計画において、大規模災害等に際しては、十分な規模の部隊を迅速に輸送・展開して初動対応に万全を期することとされています。
- 防衛省においては、長大な日本海側の沿岸地域の防衛・警備任務を担っている陸自中部方面隊の空中機動力の強化のため、空自美保基地において、今後、陸自輸送ヘリコプター（CH-47）を新たに配備することを計画しています。
- 新たな中期防衛力整備計画期間中（平成26年度～平成30年度まで）の適切な時期における陸自輸送ヘリコプター（CH-47）の配備のため、防衛省においては、大規模災害等に万全を期すべく、平成27年度概算要求に測量調査費及び実施設計費等を含む所要の経費（約6億円）を計上することとしております。
- スケジュール（案）
 - 平成27年度：調査、実施設計
 - 平成28年度～30年度：本体工事（格納庫等）
 - 平成27年度～29年度に仮設工事（誘導路の切替工事）を行う予定です。なお、CH-47の配備時期は、施設整備終了後の平成29年度又は30年度となる予定です。

陸上・航空自衛隊のCH-47配備状況

(平成24年度末)

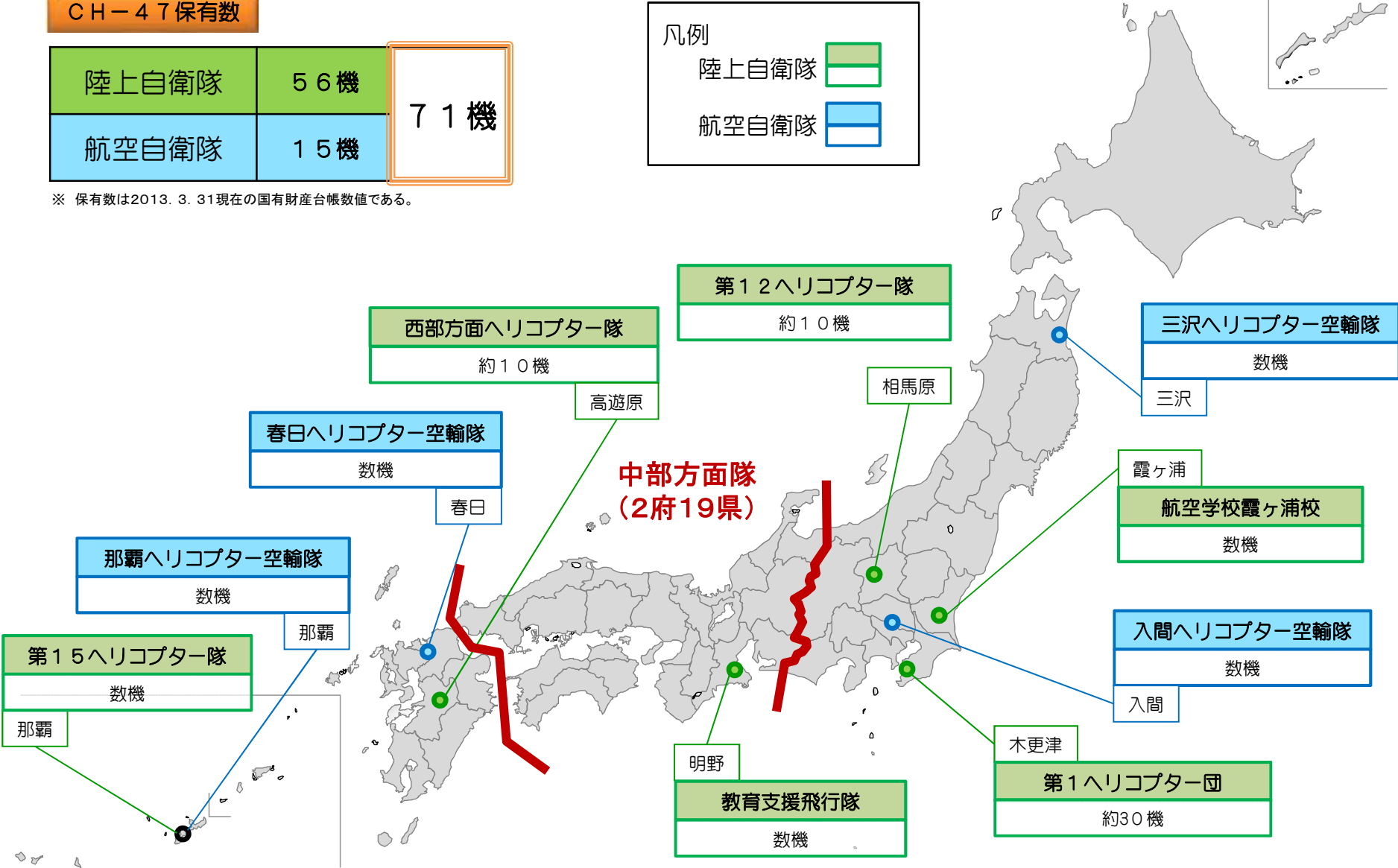
CH-47保有数

陸上自衛隊	56機	71機
航空自衛隊	15機	

※ 保有数は2013. 3. 31現在の国有財産台帳数値である。

凡例

- 陸上自衛隊
- 航空自衛隊



陸自装備各種ヘリの比較

名 称	OH-1 (偵察用ヘリ)	UH-60JA (多用途ヘリ)	CH-47J (輸送ヘリ)	CH-47JA※ (輸送ヘリ)
画 像				
使用用途	情報収集 (目視)	情報収集 (映像伝送・夜間暗視) 人員輸送 (12名)	人員輸送 (55名) 物資輸送 重量物運搬	人員輸送 (55名) 物資輸送 重量物運搬
最大速度	270 km/h	—	—	267 km/h
巡航速度	220 km/h	240 km/h	267 km/h	257 km/h
航続距離	約550 km	約470 km	約540 km	約1,040 km
搭乗員数	2名	2名	2~3名	2~3名
輸送人員数	—	12名	55名	55名
貨物 (内部)	—	約1,400 kg	約8,500 kg	約8,500 kg
貨物室サイズ	—	約1.7×約1.8×約1.3 (m)	約2.3×約9.3×約2.0 (m)	約2.3×約9.3×約2.0 (m)
機体寸法 幅×全長×高	約11.6×約13.4×約3.8 (m)	約16.4×約19.8×約5.1 (m)	約18.3×約30.2×約5.7 (m)	約18.3×約30.2×約5.7 (m)
最大全備重量	4,000 kg	9,970 kg	22,680 kg (大型車両の空輸が可能)	22,680 kg (大型車両の空輸が可能)
実用上昇限度	4,880m	4,651m	2,673m	2,804m

※ CH-47JAは、CH-47Jの性能向上型であり、大型燃料タンク化により長距離輸送能力が向上

CH-47の活動状況(人員輸送)



CH-47の活動状況(人員輸送)



機内における担架設置の例

CH-47の活動状況(重量物の吊り下げ)



CH-47の活動状況(消火活動)



大型ヘリコプター用として、陸上及び航空自衛隊のCH-47の消火用バケットにはバンビバケットHL7600(7,600 リットル)が採用されています。(ドラム缶約38本分)

